

□議員名：宮本 政志

1 本市が目指す都市計画マスタープランについて

論点	市民生活を支える土地利用についてどのように進めていくのか。
回答	既成市街地内で土地利用の有効活用・高密度化を進めていく。多くの人々が利用しやすい場所に公共性の高い施設や住宅地、商業地を配置・誘致し、郊外部には自然環境や田園環境と調和する低密度な低層住宅地を配置・誘導していく。

論点	市街地整備についてどのように進めていくのか。
回答	既成市街地内における良好な住環境整備を重点的に進めるため、既存の社会資本を最大限活用するとともに、新たな公共施設についても既成市街地内に配置するなど、既成市街地内の居住環境の向上や土地の有効利用の促進に努めていく。

論点	交通体系整備についてどのように進めていくのか。
回答	これまで整備してきた道路・鉄道・公安などの交通基盤を生かしながら、分散する各地域間をつなぐとともに、歩いて暮らせるまちづくりを実現する交通体系の整備を進めていく。

論点	総合的なまちづくりをどのように進めていくのか。
回答	コンパクトな市街地形成を図るとともに、都市的な土地利用と自然的な土地利用、それぞれの特性を踏まえた土地利用を展開していく。

論点	市内で人口の増加が見込まれる、国道 190 号線沿いのアルク小野田店の南側一帯を用途地域指定すべきである。
回答	都市計画マスタープラン改定後に用途地域の見直し作業に入りたい。市全域で行っていく考えだが、その一部も含めて当然、検討対象に入っていく。

論点	市道日の出町船越線の小野田駅前交差点から高須バス停辺りの渋滞緩和に向けての道路整備計画はあるのか。
----	---

回答	右折車線が溜まると直進車線も動かなくなることが渋滞の原因と 思っている。交差点に右折レーンを設置することで、渋滞解消でき ると考えている。交差点改良を山口県と事業の歩調を合わせて進め ていく。
----	---

論点	市道成松山川線の鴨庄一丁田バス停から厚狭新橋までの道路幅員の 拡張整備は最優先で取り組む事業である。
回答	この路線はそのまま広げるといふより、踏切が近いところは道路を 線形に沿って規格に乗った形で通る必要があると思っている。計画 を今後、進めていく予定の路線である。

論点	デマンド型交通の殿様号・姫様号の運行区域の範囲を現状より広げ る必要がある。
回答	殿様号については、現行のエリアに加えて野中地区や大谷地区など 厚狭地区南部の4自治会への拡大、姫様号については、出合地区の 7自治会への拡大を予定している。

論点	用途地域指定された地域が農用地区区域の場合、農用地区区域から の解除が必要である
回答	農用地区区域からの解除の手続きを進めていくことになる。

## 2 空家対策の実践的な対応について

論点	特定空家の現地確認を踏まえた進捗状況はどうか。
回答	通学路付近に存在するD・Eランクの空家について、優先的な現地 調査をしている。根気強く、粘り強く、1軒でも多くの管理不適切 な空家が減るように対応を講じていく。

論点	空家対策に対する現状の担当人員や予算で大丈夫か。
回答	報告書によると喫緊の対応が必要である。空家対策については、全 国的な問題ということもあるので、今後、体制の強化についても検 討を加えていきたいと考えている。